



北斗句会

十二月定例会（二日 メール句会）

兼題 「葉」「焼」

五十音順

特は特選 石田きよし選

特 早朝散歩イヴモンタンの枯葉

大崎石州

コロナ禍にエールを送る酉の市

太田黒幸風

特 コロナ禍や津々浦々の隙間風

大森康政

サクサクと落ち葉踏む音背が聞く

竹内雲泉

くつさめも咎める世なり車内の眼

田中資凡

特 タと宵狭間を仕切る冬の星

長池豆陽

掃き溜し枯葉を散らかるつむじ風

深見十万

憂国の血潮めきたる冬夕焼

藤田紀潮

焼き芋の稚児と頬張る甘さかな

宮下ひかる

丸き背の喪服に長き木の葉髪

森田光彦

短日や沈む夕日を追ひかけて

山縣秀雄

光秀の御霊神社や虎落笛

吉岡誠山



くぐるくると時計まはりに鴨の恋

石田きよし